

# 複合材料界面科学研究会シンポジウム 講演原稿フォーマット

## A paper template for SIMS symposium

○佐藤陽太（界面大学大学院），鈴木葵（界面大学），高橋さくら（界面大学）

Youta Sato, Aoi Suzuki, and Sakura Takahashi

### 1. 緒言

本フォーマットに従い，日本語または英語で原稿を作成する．文字フォントには明朝体または Times New Roman を使用する．

### 2. 見出し第一レベル

見出し第一レベルでは見出しの後，行頭で1字下げをしてから書き始め，見出し前に1行空ける．

原稿は A4 サイズで2ページ以内に作成する．余白は左右 20 mm，上 25 mm，下 22 mm とし，本文は2段組とし，コラム幅 80 mm，コラム間隔を 10 mm とする．1コラムの文字数は全角で25文字程度，行数は50行程度とする．

### 3. 見出し第一レベル

#### 3.1 見出し第二レベル

見出し第二レベルでは見出しの後，行頭で1字下げをしてから書き始め，見出し前の空行は不要とする．

和文及び英文題名は 13 pt，和文及び英文著者名は 11 pt とし，中央揃えとする．講演者（登壇者）に○印をつける．本文は 9 pt とする．本文での参考文献の引用箇所には<sup>2-5</sup>または<sup>2,5,7</sup>のように番号をつける．また，参考文献は本文の最後にまとめる．

#### 3.1.1 見出し第三レベル

見出し第三レベルでは見出しの後，行頭で1字下げをしてから書き始め，見出し前の空行は不要とする．

図は Fig. 1 のように，表は Table 1 のように本文で引用する．図表中の説明は英語とする．

### 4. 結言

執筆した原稿は PDF ファイルに変換して送付する．原稿のファイル名は「第一著者名.pdf」とする．

### 参 考 文 献

- 1) 田中歩，伊藤裕翔，複合材料界面科学論文，53(4)，(2004)，pp. 114-125.
- 2) H. Harada and T. Murata, Compos. Sci. Technol., Vol. 12, No. 3 (2015), pp. 321-326.
- 3) S. Timoshenko, "Theory of Elastic Stability", pp. 102-115 (1961), McGraw-Hill.
- 4) 村田陽介ほか，第5回複合材料界面科学研究会シンポジウム予稿集，3B-6，(2014).

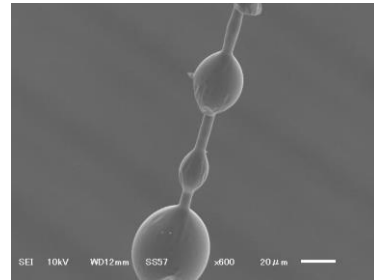


Fig. 1 Droplets on single carbon fiber

Table 1 Interfacial strengths

		Carbon fiber		
		DDD	EEE	FFF
Resin	AAA	20	30	40
	BBB	30	40	50
	CCC	40	50	60

Unit : MPa